【離婚】(様式1)

公益社団法人民間総合調停センター 御中

和解あっせん・仲裁申立書

申立年月日:令和 年 月 日 申立人 住 所 〒***-*** 大阪府大阪市〇丁目〇番〇号 (電話 **-******) (会社名・代表者名) 大阪 妻子 印 (生年月日)昭和**年**月**日 (**歳) 申立人 住所 〒 (電話 (会社名・代表者名) 印 (生年月日) 月 歳) 代理人 住所〒 (電話) 代理人 印 相手方 住 所 〒***-*** 大阪府大阪市〇丁目〇番〇号 (電話 **-***********) (会社名・代表者名) 大阪 夫男 (生年月日)昭和**年**月**日 (**歳) 相手方 住所 〒 (電話) (会社名・代表者名) (生年月日) 年 月 日 (歳)

[※]ボールペンまたは万年筆で記入して下さい。

[※]本申立書は相手方に送付します。

第1. 申立の趣旨(相手方に求める結論を記載して下さい。)	
1 申立人と相手方は離婚する	
2 未成年の子の親権者を申立人と定める	
3 相手方は、申立人に対し、未成年の子の養育費として1人あたり毎月5万円を	
支払う	
4 相手方は、申立人に対し、慰謝料として金400万円を支払う	
との 和解あっせん・仲裁判断 (どちらかを○で囲んでください) を貴センター規則に基づいて求める。	
第2. 申立の理由(紛争の概要と申立を根拠づける理由を記載して下さい。)	
1 申立人と相手方は、平成30年3月14日に婚姻し、令和2年6月12日に長男	Į 7
○○、令和4年9月29日に長女△△が誕生した。	
2 相手方は、令和5年10月ころから、勤務先の部下である□□と親密になり、	
同年12月16日、自宅を出て同女と同棲するようになった。申立人は相手方に	
対し、同女との関係を解消して自宅に戻るよう求めたが、相手方は応じない。	
3 そこで、申立人は相手方との離婚を決意した。	
4 申立人の長男及び長女はいずれも未成年である。申立人にはわずかなパート収入	
しかない。他方、相手方はサラリーマンであり、年間約600万円の収入を得て	
いる。	
5 また、申立人は、相手方の不貞行為により、多大なる精神的苦痛を被った。	
6 よって、申立人は相手方に対し、申立の趣旨記載の請求をする。	
第3.和解あっせん人・仲裁人として選任を希望する者の氏名等(希望する場合のみ、3名以内でご記入ください)	
・氏名() 資格・所属団体等(弁護士・大阪弁護士会)	
・氏名() 資格・所属団体等()	
・氏名() 資格・所属団体等()	

[※]ボールペンまたは万年筆で記入して下さい。 ※本申立書は相手方に送付します。